

令和5年度 学校評価の結果と分析及び課題

I 調査の概要

	生徒	保護者	教職員
回答者数	635	600	57
回答率	94.9%	89.7%	100.0%
調査日	令和5年11月10日	令和5年11月8日～26日	令和5年11月13日～17日

II 本年度の重点目標

1. 確かな学力と主体的に考え行動できる力の育成

- (1) 基礎学力の定着と学習意欲の向上への取組
- (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

【アンケート結果の分析及び課題】

少しずつ行事が元通りの形で実施できるようになり、生徒は学校でメリハリのある学習活動が行えるようになった。一方、家庭での時間を自分で管理し、必要な学習時間を確保することは十分にできていないようである。なかなかコロナ禍前の状態には戻れない状況がある。多くの生徒が「専門性を深めている」、「検定や資格取得に取り組んでいる」と回答しており、「なぜやるのか」「何をやればいいのか」と、目的と手段がはっきりしていて成果が目に見えるものであれば、学習に取り組める傾向にある生徒が多いと考えられる。本校が専門高校として一定の役割は果たしているものの、近年、就職の筆記試験や進学の公募推薦や一般受験で、高校生としての学力が問われる機会も多く、変化の速い社会に対応するために、真の学力を備えた生徒の育成が求められている。基礎学力と専門性の両立をめざして、改善と工夫を弛みなく行っていかなければならない。

2. ルール・マナーを守る態度と自己指導能力の育成

- (1) あいさつ、身だしなみ、言葉遣い、時間厳守の指導の徹底
- (2) 交通ルールへの遵守と交通安全指導の徹底
- (3) 自己有用感に裏付けられた自尊感情の育成
- (4) 自他を敬愛する心、奉仕する心の育成

【アンケート結果の分析及び課題】

あいさつや服装頭髪については、多くの生徒ができているが、一部の生徒への指導が行き届いていないようである。今後、指導の徹底を図っていく必要がある。交通ルールについて多くの生徒は守っていると回答しているが、ながら運転など生徒の交通マナーに対する意識がまだ不十分である。交通指導の機会やホームルームなどで、交通事故防止に更に努めていく必要がある。いじめや学校不適応等を早期に発見し、早期に解決できるよう、情報交換会、なんでも相談室、カウンセリングの充実等、教育相談機能の充実に努めた。生徒の悩みは多岐にわたり、周囲との関係によってさらに複雑化していく傾向にあると感じる。特に生徒や保護者への初期対応では、担任だけではなく、学年主任、生徒指導部、教育相談部と連携するなど、協力体制の強化をさらに推進する必要がある。

3. 自己の在り方生き方を考えるキャリア教育の実践

- (1) 年間を通した体系的なキャリア教育の実践
- (2) 専門性の深化と進路意識・目的意識の向上
- (3) 検定や資格取得等とおおむねの自己肯定感の高揚

【アンケート結果の分析及び課題】

求人数は昨年比+7%で、近年では過去最高の求人数となったこともあり、生徒の希望とおおむねマッチングできた。地元企業を含め県内外で卒業生が定着し信頼を得ていることが一因である。進学希望者も全員が12月中に合格することができた。「進路活動に積極的に参加している」生徒は、全体の66.5%であった。今年度は、2年生の就職希望者対象に職業体験会(校内ガイダンス)を新たに実施した。早い段階から進路意識を向上させるため、生徒の実態に合わせて行事を精選・補充していく必要がある。生徒、教員に向けて企業や上級学校についての十分な情報を提供することや、進学者へ向けての補習授業の充実や実力模試の受験推奨を図っていききたい。

4. 保護者や地域の信頼に応える学校づくりと特別活動の活性化

- (1) 地域連携事業等による保護者や地域の信頼に応える学校づくり
- (2) 逞しい心と体、豊かな人間性の涵養
- (3) 危機管理意識の高揚

【アンケート結果の分析及び課題】

集会を必要に応じて対面とリモートの形を使い分けて実施した。選択肢を持つことで、学校運営も可能性を広げることができた。来年度は本校の創立50周年の記念行事が予定されている。伝統ある本校であるが、少子化などの社会の変化に無関係ではいられない。未来を見据えて本校の今後の在り方を考えていく必要がある。

部活動や学校行事への取り組みの評価は、引き続きおおむね良好である。様々な学校行事が通常実施できるようになり、学校行事を楽しむにしている結果である。更に良い行事ができるように、全員で知恵を出し合い工夫していきたい。部活動加入率は54%である。加入率を上げるために、活動内容や活動時間の見直しなども含めて検討し、魅力的な部活動を目指していくことが必要である。また、本校ホームページに定期的に記事を掲載することで、開かれた学校づくりを進め、保護者や地域の信頼に応える学校としていきたい。